



己の能力発揮が可能となるので、個人は充実した生活と未来を切り拓けるようになるという。

本書で特に注目すべきは「現場力向上NAVIシステム」である。システムといっても、現場と無関係に作られた既存システムではなく、個々の現場の資源に合わせて柔軟かつ統合的に作成し、運用するシステムである。今どのような能力保有状態なのかを明らかにする「診断機能」、能力を向上させる「向上機能」、向上したかどうかを判定する「検証機能」、そして、これらの能力に関する「予測機能」の4つから成る。組織全体のパフォーマンスを人材育成の視点から俯瞰する経営ツールといえよう。

本書は、個人ではなく、組織の充実発展のための能力開発を追求する。これによって、人材一人ひとりに自



実践 現場の能力管理
生産性が向上する人材育成マネジメント

森 和夫 著
2970円 日科技連出版社
☎03-5379-1240

「チームとしての学校」を本気で実現するためには、本書で主張するような「能力開発を効果的に進め、結果として対象者の能力を発揮できるような環境を整える」という経営目的を鮮明にすることが必要である。とくに若手教員は、暗黙知を含めて知りたい、目標とすべきキャリアパスに沿ったラダーごとの必要能力を示してほしいと思っ

（前聖徳大学教授・西村美東士）

評者は考える。教育においては、教師の自律性、主体性が尊重され、そのため、「人材育成」や「能力管理」は、具体的な教師像や必要能力を提示できず、精神論だけ横行している。向上心に燃える若手教員にとっては有難迷惑な話である。上に示した4機能など皆無と言えよう。

「チームとしての学校」を本気で実現するためには、本書で主張するような「能力開発を効果的に進め、結果として対象者の能力を発揮できるような環境を整える」という経営目的を鮮明にすることが必要である。とくに若手教員は、暗黙知を含めて知りたい、目標とすべきキャリアパスに沿ったラダーごとの必要能力を示してほしいと思っ